

環境・経済・社会の統合的向上を達成するための方策の事例

平成 29 年 6 月 29 日
中央環境審議会総合政策部会事務局

1. 地域循環共生圏

✓中央環境審議会による意見具申「低炭素・資源循環・自然共生政策の統合的アプローチによる社会の構築」(平成 26 年 7 月)において「地域循環共生圏」が提唱された。

- 基盤となる安全を確保しつつ、低炭素・循環・自然共生政策の「統合的アプローチ」により「将来にわたって続いていく真に持続可能な循環共生型社会」を実現するためには、都市と農山漁村の各域内において、地域ごとに異なる再生可能な資源（自然、物質、人材、資金等）が循環する自立・分散型の社会を形成しつつ、都市と農山漁村の特性に応じて適切に地域資源を補完し合う仕組みが重要。
- このためには、都市や農山漁村の各域内やその間でのつながり（ネットワーク）の強化（自然的つながり（森・里・川・海の連環）や経済的つながり（人、資金等））が必要であり、これを実現するため、「実行計画、公園計画、都市計画等の各種計画の連携」や「資金循環・人材活用」等の各種施策の実行を図る。
- このようなさまざまな具体的な施策連携がさらに広域的なブロック（関東圏、東北圏等）の間で有機的なネットワークを形成していけるよう、マスタープラン的な計画の策定を行うことが重要。



- ✓「地域循環共生圏」は、循環分野における「地域循環圏」という考えと、自然共生における「自然共生圏」という考えが包含されている。

< 地域循環圏 >

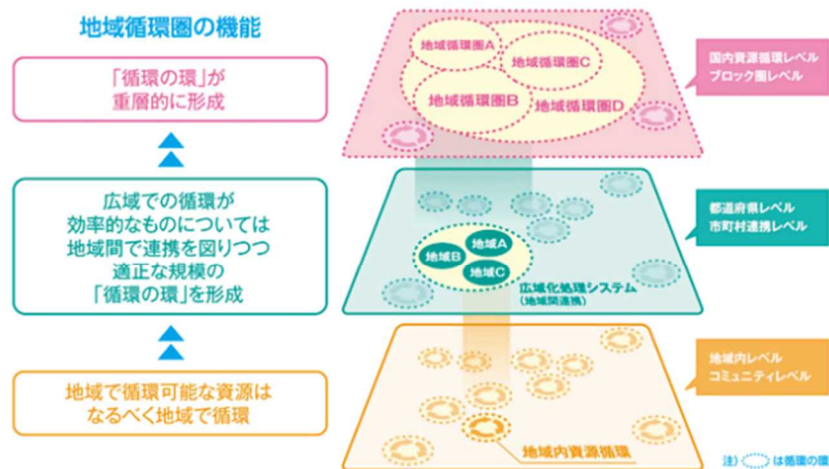
(「循環型社会形成推進基本計画」(平成20年3月閣議決定)より抜粋)

経済社会の物質循環は画一的なものばかりでなく、地域の特性や循環資源の性質に応じて、最適な規模の循環を形成することも重要です。例えば、一定の地域のみで発生する又は腐敗しやすい等の特徴を持つバイオマス系循環資源は地域において循環し、高度な処理技術を要する循環資源はより広域的な処理が行われます。このように地域で循環可能な資源はなるべく地域で循環させ、地域での循環が困難なものについては循環の環を広域化させていくといった考え方に基づく「地域循環圏」が、廃棄物の適正処理と不法投棄防止を大前提に幾重にも構築され、地域間での連携を図りつつ、低炭素社会や自然共生社会とも統合された持続可能な地域づくりが進みます。

(「地域循環圏形成の手引き～地域内にある循環資源の利用拡大に向けて～」

(平成28年3月、廃棄物・リサイクル対策部企画課循環型社会推進室)より抜粋)

- 地域循環圏という言葉は、「第二次循環型社会形成推進基本計画」(平成20年3月閣議決定)で初めて提示されたもので、「地域の特性や循環資源の性質に応じて、最適な規模の循環を形成することが重要であり、地域で循環可能な資源はなるべく地域で循環させ、地域での循環が困難なものについては循環の環を広域化させることにより、重層的な循環型の地域づくりを進めていく」という考え方で
- つまり、廃棄物等の適正な処理を前提としつつ、循環資源そのものや地域の特性などに対し、従来からの見方や捉え方を変えることで、これまで未活用であった循環資源を最適な規模で循環させることができ、重層的な循環型の地域を作ることができるといったものです。
- また、地域循環圏を構築することで低炭素社会や自然共生社会の構築、地方創生、そしてイノベーションに繋がることも期待できます。さらに平成27年9月に国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発目標」(SDGs)を中核とする「持続可能な開発のための2030アジェンダ」のゴール12では持続可能な消費と生産を掲げており、地域循環圏を構築することの重要性は増しています。



< 地域循環圏 事業例一覧 >

(「地域循環圏形成の手引き～地域内にある循環資源の利用拡大に向けて～」
(平成 28 年 3 月、廃棄物・リサイクル対策部企画課循環型社会推進室) より抜粋)

	事業名称	概要
1	福岡県南筑後地域におけるプラスチック等循環圏高度化モデル事業	〔平成 25～27 年度〕南筑後地域 7 市町及び周辺自治体でプラスチックごみを分別収集し、地域内企業の新規施設にて処理。再生品を地域内で利用する取組。
2	鳥取県東部における生ごみの液肥化による地域循環圏高度化モデル事業	〔平成 26～27 年度〕生ごみを分別収集して液肥化し、近郊農業地域で利用。得られた農作物を対象地域等で販売・還元する取組。
3	下妻地域食品リサイクル推進事業	〔平成 27 年度〕事業系食品廃棄物の堆肥化に加え、地域で盛んな養豚事業者からの家畜排せつ物をメタン発酵し、生成されるバイオガスを近隣の食品加工業者に販売、堆肥液肥は組合員農家で利用して栽培作物を地域のスーパー等に販売する事業
4	中部地方(名古屋駅周辺)における地域循環圏形成モデル事業	〔平成 25～26 年度〕駅周辺の店舗からの食品廃棄物を共同収集して肥料化、飼料化し、それらを用いて生産された農産物及び畜産物を地域内で消費する取組。

5	山形県、宮城県の広域連携による食品廃棄物、家畜排せつ物を活用した電力、肥料・飼料生産による地域循環圏形成モデル事業	〔平成 26 年度〕県内の食品廃棄物及び家畜排せつ物をメタン発酵施設で生成される液肥及び堆肥を近隣の農家に販売するとともに、バイオガス発電事業を実施する取組。
6	山口県下における食品廃棄物の飼料化等による地域循環圏形成モデル事業	〔平成 25 年度〕食品廃棄物を一体的に収集運搬して飼料化し、近郊の養鶏場で利用して得られた卵を小売店に還元する取組。
7	福岡県大木町 「おおき循環センターくるるん」	平成 12 年基本構想策定。 生ごみ、し尿、浄化槽汚泥をメタン発酵し、近隣農家での液肥利用、バイオガスは発電し施設内利用、液肥栽培作物は隣接の道の駅とレストランで利用する取組。
8	山形県長井市 「レインボープラン」	昭和 63 年基本構想策定開始。 生ごみを堆肥化して近隣農家で利用、栽培作物はブランド化して販売する取組。
9	岩手県紫波町 「循環型まちづくり」	平成 13 年循環型まちづくり条例制定。 町運営施設で家畜排せつ物、食品残さ、間伐材等を統合的に処理し、良質な堆肥を製造。町内農家に販売し、安全・安心な農産物としてブランド化する取組。
10	神奈川県相模原市 「地域材を活用した商品開発・販売および環境教育」	平成 25 年森の机事業開始。 地域材を活用した学習机天板を生産し、地元小学校に導入すると同時に、森林教育を実施して、地域材利用及び森林保全の意識醸成を図る取組。

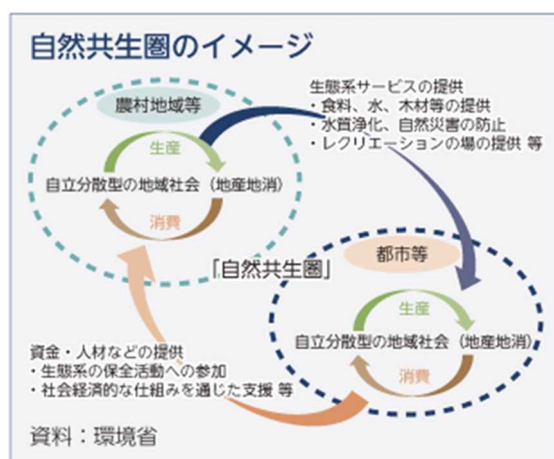
〔 〕内は「地域循環圏形成モデル事業」採用年度

「地域循環圏形成モデル事業」の後、「低炭素型廃棄物処理支援事業補助金（地域循環圏・エコタウン低炭素化促進事業）」を平成 28 年度より開始。低炭素な地域循環圏の形成を図るための事業の F S 調査及びその事業化計画の策定等に対する補助事業を実施中。

< 自然共生圏 >

(「生物多様性国家戦略 2012-2020」(平成 24 年 9 月閣議決定)より抜粋)

- 地域の資源を地産地消し、地域の中で循環して持続的に活用していく、それぞれの地域が自立した分散型の社会システムを目指してゆくことが求められる。
- 都市に存在する資金や人材、情報等を地方に提供し、お互いが支えあう仕組みを作ることが必要。
- 太陽エネルギーを源とした光合成による有機物生産、食物連鎖、分解、個体の移動などの生物自らの働きと地球の大気、水、土壌などの間を物質が循環することによって支えられている。
- 森林や草原などに炭素が蓄積されることで地球温暖化が緩和され、これらのバイオマス資源を適切に活用することで、化石燃料の使用の抑制につながる。

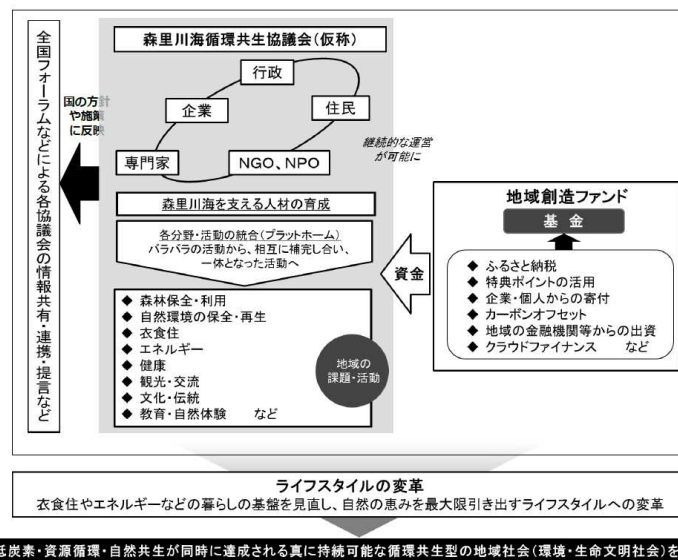


2. 「森里川海をつなぎ、支えていくために（提言）」

✓平成 26 年 12 月に「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクトが立ち上がり、27 年 6 月の中間とりまとめを経て、28 年 9 月に「森里川海をつなぎ、支えていくために（提言）」（最終とりまとめ）が公表された。

- 環境・経済・社会の統合的アプローチとして、再生可能エネルギーの活用で地域経済を回す、個性ある風土づくりで交流人口を増加、安心・安全な衣食住、少量多品種・高付加価値化の一次産品づくり、生態系を活用した防災・減災等を提言。
- 基本原則として、人口減少社会・高齢化を逆手にとる、地方創生への貢献、国民全体で支える、縦割り解消、関係者間・地域間の連携、バックカスティング・アプローチ等を提示。
- 具体的な取り組みのアイデアとして、「森林のメタボ解消、健全化プログラム」等の地域の草の根の取組、「ボトムアップで取組を進めるための仕組み」等の実現に向けた仕組みづくり、「森里川海で遊ぶ子供の復活プログラム」等のライフスタイルの変革を提案。

<実現する仕組みのイメージ図>



3. 地域循環共生圏構築事業

< 概要 >

✓上記の提言およびリレーフォーラムでの各地からの意見を踏まえ、平成 28 年度より環境省において「地域循環共生圏構築事業」を開始。

✓本事業は、地域の自然資源のストック（自然資本）の持続的な管理手法とそれを支える仕組みを備えた「地域循環共生圏」を構築し、日本の豊かな生物多様性と、その恵みを持続的に次世代に継承していく「環境・生命文明社会」の実現を目指すもの。

1. 自然の恵みをひきつぐ地域循環共生圏実現に向けた方策検討

(1) 自然の恵みの評価手法の開発 [H28-29]

(2) 資金や労力を確保するための方策検討 [H28-29]

(3) 自然の恵みをひきつぐ国民運動 [H28-31]

2. 自然の恵みをひきつぐボトムアップ型の仕組みの構築 [H30-31]

✓平成 28 年度に全国 10 ヶ所を実証地域として選定。「多様な主体によるプラットフォームづくり」、「自立のための経済的仕組みづくり」、「人材育成」などの観点から、地域でまわる仕組みづくりの支援を進めている。

実証地域	活動団体
宮城県本吉郡南三陸町	一般社団法人 C E P A ジャパン
神奈川県小田原市	小田原市
石川県珠洲市	珠洲市
滋賀県東近江市	特定非営利活動法人まちづくりネット東近江
大阪府吹田市・豊能郡能勢町	特定非営利活動法人大阪自然史センター
岡山県高梁川流域	一般社団法人高梁川流域学校
山口県	榎野川河口域・干潟自然再生協議会
徳島県吉野川流域	コウノトリ定着推進連絡協議会
福岡県宗像市	宗像国際環境会議実行委員会
佐賀県鹿島市	鹿島市ラムサール推進協議会

✓各地域で実施される地域プログラムは以下の通り。

- 1) 森林のメタボ解消、健全化プログラム
- 2) 生態系を活用したしなやかな災害対策プログラム
- 3) 「江戸前」など地域産食材再生にも貢献する豊かな水循環形成プログラム
- 4) トキやコウノトリなどが舞う国土づくりプログラム
- 5) 美しい日本の風景再生プログラム
- 6) 森里川海からの産業創造プログラム
- 7) シカなどの鳥獣や外来生物から国土・国民生活を守るプログラム
- 8) 森里川海の中で遊ぶ子どもの復活プログラム
- 9) 森里川海とつながるライフスタイルへの転換プログラム

例えば、滋賀県東近江市の事業では、「鈴鹿山脈から琵琶湖まで、つながり を生かした「東近江三方よし基金」の創設」を行っており、地域に存在する資源（自然資本、人工資本、社会関係資本、人的資本の4つから構成）を最大限に活用する予定。具体的には、「地域材を活用した商品開発」「空き家を活用して地域活性化」「地域貢献型発電事業」「森を生かした次世代育成と生物多様性保全」「空き店舗を地域活性化拠点に」「広葉樹&針葉樹を活用したブランド家具生産」など。

4. 今後の方向性に係る論点（案）

（１）環境・経済・社会の統合的向上を具体化する方法としての「地域循環共生圏」

- ✓「地域循環共生圏」は、低炭素・資源循環・自然共生政策の統合的アプローチが目指している理念を明確化した一方、「地域循環共生圏」の構想だけでは、各主体が具体的に何に取り組みばよいのかが分かりにくい場合もあるのではないか。

環境・経済・社会の統合的向上の具体化の一例として「地域循環共生圏」は適切か。どのような点が適切か。

「地域循環共生圏」の構想の具体化による環境・経済・社会の統合的向上は、SDGsの活用によって見える化できるか。

（２）地域レベルの実践

- ✓地域レベルでは、着手段階から低炭素・資源循環・自然共生政策の統合的アプローチを目指すよりも、地域課題への対応を通して、結果的に統合的アプローチを実現していく方が、現実的ではないか。
- ✓本事業等を通して「地域循環共生圏」のグッドプラクティスを蓄積することにより、「地域循環共生圏」の構想が具体化されることで、地域レベルでの実践が実際に進んでいき、持続可能な社会を目指す環境基本計画の推進につながるのではないか。

「地域循環共生圏」が「地域循環圏」及び「自然共生圏」を包含した概念であることを踏まえ、低炭素・資源循環・自然共生政策のバランスの取れたグッドプラクティスを地域レベルで構築する観点からは、「地域循環共生圏構築事業」や「地域循環圏」、「自然共生圏」を推進するにあたり、今後、どのような改善点があるか。どのような成果が期待されるか。

（３）低炭素・資源循環・自然共生政策のバランス

- ✓本事業は、地域の自然資源のストック（自然資本）の持続的な管理手法とそれを支える仕組みを備えた「地域循環共生圏」の構築を目指しているため、特に自然共生に重点が置かれている。資源循環・自然共生に重点が置かれた地

域レベルの事例については、モデル事業等を通して蓄積されてきた状況。答申の「統合的アプローチ」を目指す視点からは、低炭素・循環・自然共生政策のバランスの取れたグッドプラクティスが地域レベルで構築されるよう努めるべきではないか。

「地域循環圏」や「自然共生圏」の取組が、旧来の資源循環や自然共生に回帰せず「地域循環共生圏」の構想の具体化につながるよう、「地域循環共生圏」の具体化に向けた何らかの付加価値やインセンティブは考えられるか。

「地域循環共生圏構築事業」以外に、環境・経済・社会の統合的向上の具体化に資する事業はあるか。

今後、本事業のような取り組みを（特に環境省以外の主体に）広げるためにはどのようにしたらよいか。